**令和７年度の取組み状況**

（１）小・中学校・特別支援学校の児童生徒を対象とする取組み

◆“いじめ・非行をなくそう”標語の募集及び全県広報

・県内の全小中学校及び特別支援学校に対し、いじめの防止・根絶に向けた標語を募集したとこ

ろ、合計 50,790 点の応募があり、各地区ごとに審査が行われ、下記の４点が優秀作品に輝きました。

【令和７年度“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動優秀標語】

村山地区：君の番 みんなでつなごう 勇気のバトン

（朝日町立朝日中学校３年 渡邉 未來さん）

最上地区：おもしろい？ あなたはそうでも わたしはちがう

（真室川町立真室川北部小学校２年 佐藤 蓮奈さん）

置賜地区：パスまわし 言葉も気持ちも つなげよう

（南陽市立宮内小学校４年 小原 縁さん）

庄内地区：かえたいな いじめる人と 見てるぼく

（三川町立東郷小学校２年 廣瀬 叶多さん）

・優秀作品については、青少年の健全育成に携わる関係者が一堂に集う山形県青少年健全育成県民大会（開催日：令和７年 10 月 26 日、場所：荘銀タクト鶴岡）の場で作者が表彰され、“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動ポスター等各種広報媒体に掲載されました。

（２）高等学校の生徒を対象とする取組み

◆高校生徒会等によるいじめ防止スローガンの作成、いじめ・非行防止ポスターデザインの募集

・県内の各高等学校において、生徒会等が主体となって“いじめをなくそう”スローガンを策定し、学校ごとにスローガンの実現に向けた様々な取組みが行われました。

・県内の高校生を対象に、“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動のポスターデザインを募集したところ、計点 16 の応募があり、審査により優秀作品が選ばれました。

◆児童・生徒と地域の大人の対話会の実施

県内４地区において、こどもと地域の大人が互いに向き合い、いじめ防止のために何ができるのかを考える対話会が行われました。各地区の実情に応じて、小・中学生との対話会が行われたところもあり、大人とこどもが真摯に向き合うことでお互いに学んだことも多く、地域と子どものつながりが大事であると再認識できました。

これまでの活動や各地区の取組み状況を共有し、今後の更なる運動推進を目指します。

（３）県内の各地域における取組み

◆いじめ・非行防止セミナーの開催（山形県青少年健全育成県民大会の中で開催）

青少年の健全育成に携わる関係者が一同に集う山形県青少年健全育成県民大会の場で、第64回山形県少年の主張大会で「命の叫びを伝える」と題した発表で最優秀を受賞した鶴岡市立鶴岡第二中学校３年の石塚桃心さんの主張発表のほか、鶴岡市青少年育成市民会議羽黒地区会議会長の勝木正人氏より、「はぐろ大家族会議の今」と題して、青少年の非行防止につながる活動について事例発表をしていただきました。

　また、山形県公認心理師・臨床心理士協会会長の伊藤洋子氏から、「レジリエンスを高めよう」と題してご講演をいただきました。伊藤氏は、現代の日本のこどもたちが抱える問題や、悩みを持つこどもへの向き合い方について事例を交えながら解説。「困難を乗り越える力である「レジリエンス力」を育む場を大人が用意しなければならない」、「大人がこどもに寄り添うことで、こどもは心を回復させることができる」などと語り、参加者は熱心に耳を傾けていました。会場内は先生のユーモアある話に時折笑顔があふれ、大変有意義な時間となりました。

◆地域の大人のためのインターネット利用に関する研修会の開催

令和７年11月28日にオンラインにて開催しました。講師に県消費生活センターの安達美紀氏を迎え、「未成年者の消費者トラブル」と題し、未成年者の相談件数やインターネットを介したトラブル事例や消費者トラブルを防ぐための対策について、ご講演いただきました。

（４）各種媒体による啓発活動




　山形県立庄内総合高等学校通信制２年 市町春乃さんの作品がポスターデザインに選ばれました。

◆地域県内民間企業と連携した啓発活動

モンテディオ山形と連携し、山形県総合運動公園にて令和７年11月９日の試合会場等で啓発活動を実施しました